

Nagoya GRAMPUS

名古屋 グランパス ワイズメンズクラブ

NAGOYA YMCA 5-29KAMIMAEZU-CHOME NAKAKU,
NAGOYA 460 JAPAN



- ① 国際会長標語 学びと奉仕と分かち合い
- ② アジア会長標語 天地の調和を取り戻そう
- ③ 日本区理事標語 新リジョン! さあ前進!
- ④ 中部部長標語 共に勝つ!
- ⑤ 会長標語 思いやりと勇気を持って突き進もう

1996年 12月号

<今月の聖句>

どのような人が、主の山に上り、聖所に立つことができるのか。それは、潔白な手と清い心をもつ人。むなしいものに魂を奪われることなく、欺くものによって誓うことをしない人。

主はそのような人を祝福し、救いの神は恵みをお与えになる。

旧約聖書 詩編24章 第3節～第5節

1996年12月例会のご案内

◎第一例会

とき：12月10日(火) 19:00

ところ：名古屋YMCA 407号

プログラム：織田 義郎氏 による講演

プロフィール等詳細は例会にて別紙参照

テーマ：お楽しみに!

◎第二例会

とき：12月26日(木) 忘年会

ところ：詳細は下記

◎日本区実行委員会

とき：12月3日(火) 19:00

ところ：名古屋YMCA

臨時日本区実行委員会

12月8日(日) A.M.:10:00

各自宛て名封筒持参の上時間厳守

メネット、役立つコメント等助っ人歓迎!

◎4クラブ合同クリスマス会

とき：12月22日(日)

ところ：詳細は下記

◎ブリテン委員会 12月27日(木)

4 Y's 合同クリスマス会

(東海・プラザ・サウス・グランパス)

12月22日(日) PM:4:30 受付

PM:5:00 礼拝

出欠席は第1例会までに連絡すること。

ところ：出雲殿 結婚式場(名駅南)

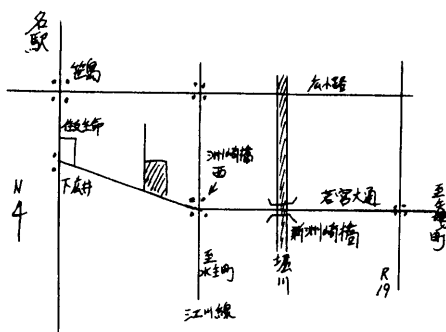
中村区名駅南 2-7-46 052-582-1122

会費：M・メネット・ゲスト ¥7,000

コメント ¥3,000 (小学生)

小学生以無料 ゲストのコメントも同じ

お楽しみ抽選会の品物を持って来るように



忘年会(第2例会)

12月26日(木) PM:19:00

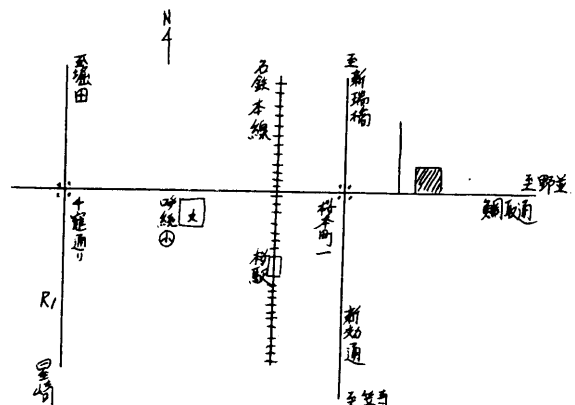
ところ：まるはち

南区桜台 1-24-13 052-823-0881

地下鉄 NO2 出口利用

会費：¥10,000 (予定)

出欠席は第1例会までに連絡すること。



外から見たワイズメン

Part 2

前回 バザーを手伝っていただいた城 久司氏に続き常川里美さんをお願いしました。

《ワイズメンズクラブへの要望》

私が「ワイズメンズクラブ」の存在を知ったのは、たぶん根の上キャンプ場で行った「根の上セミナー」（1987年頃）だと思います。その頃のリーダーは、スタッフからの「来週末に根の上にかん？」という言葉だけで、はっきりと何をすることもわからず

(?!)根の上セミナーに参加していました。そして、あんなに大勢のリーダーの参加費の一部を年齢別の会費制のため負担し、食べ盛りのリーダー達の事を予測して多くの差し入れをしてくださった「気前のいいおじちゃま達」こそがワイズの方々なのです。

残念なことに最近、以前のように本館のリーダー会（野外・体育）にも勢いがなく、ましてやスタッフ、リーダーとワイズの方々がコミュニケーションを持つ場もなく、ますますお互いを理解するのが難しくなっているのではないのでしょうか。

そこで、お互いを理解するために一人のスタッフとして、ぜひお願いしたいことが3つあります。

1つ目は、YMCAのプログラムに参加をしてください。YMCAを知るには、プログラムに参加していただく事が一番近道だと思います。

2つ目は、皆さんの持つスキルをスタッフやリーダー、その他の会員に見せて、その存在をアピールしていただきたいのです。仕事に関することやリーダー時代を思い出してゲームや歌の指導なんてどうですか。将来のワイズメンを探せるかもしれません。（例えば、塗装業の方がフィリピンワークキャンプの方に「正しいペンキの塗り方講座」とか「伝えて欲しいあんな歌、こんなゲーム」とか）

3つ目は、上記2つができるようになったらぜひ、リーダー会のサポートをお願いしたいです。例えば、それぞれのワイズがサポートをしてリーダー会から4人フィリピンワークキャンプに行けるチャンスを作るとか、新歓キャンプなどでBBQを振る舞っていただくとか。

言いたい事を言いたいだけ書いてしまいましたが、私は、同じYMCAにつながる者同士が、お互いを理解しあえないで、外にYMCAの存在を知らせていくのは難しいような気がするのですが「気前のいいおじちゃま達」はどう思われますか。

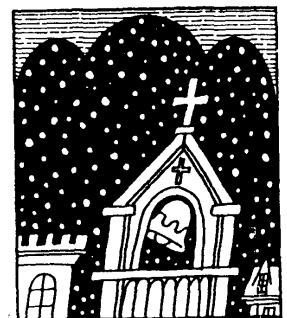
常川 里美

‘96-’97 出席表 96.11.30

NO	例会 氏名	10	10	10	10	11	11	11	11	11	
		11	18	22	26	12	18	24	29	19	22
		大会 委員会	第 一 例 会	第 二 例 会	・ バ ザ ー	大 会 委 員 会	第 一 例 会	第 二 例 会	チ ャ リ テ ィ ビ ッ	街 頭 募 金	サ ン ド ル 訪 問
1	阿部 一雄	○	○	○	/	/	○	/	/	/	○
2	荒川 恭次	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	井川 幸吉	○	○	○	/	○	/	○	○	/	/
4	池野 輝昭	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○
5	馬場寅太郎	○	○	○	○	/	○	○	○	/	/
6	尾崎 史忠	/	○	/	/	/	/	/	/	○	/
7	加藤 道子	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○
8	加藤 元紹	○	○	○	○	/	○	/	○	/	/
9	坂口 功裕	/	○	○	○	/	○	○	○	/	○
10	坂倉 洋	○	○	○	○	○	○	○	○	/	/
11	佐藤 壽晃	/	/	/	/	/	○	/	/	/	/
12	真田 幸治	/	○	/	/	/	/	/	/	/	/
13	丹羽 真清	○	○	○	○	○	/	○	○	/	○
14	服部 庄三	/	○	○	/	/	○	/	/	/	○
15	坂野 清治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
16	深谷 裕子	/	/	/	/	/	/	○	/	/	/
17	三井 秀和	○	○	/	○	○	○	○	/	/	○
18	吉田 一誠	/	○	○	○	○	○	/	○	○	/
19	吉田 正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
20	木野村 映	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

12月は Merry Christmas です。

みんなで楽しい夢を見ましょう。



韓国インチョン サンドルクラブの訪問報告



11月2・3・4日メンバー8名でインチョンのサンドルクラブを訪問しました。2日の午後3時金浦空港でサンドルクラブのメンバーとメネット12名による大歓迎を受けその後済洲島へと出発しました。その夜、盛大な歓迎式で禹会長、荒川会長のあいさつからも久しぶりの再会をお互いに喜び会い、言葉が多少通じ合わなくとも会を重ねるごとに熱い気持ちに通っていることを感じました。翌日はお天気にも恵まれゴルフ組と観光組に別れ済洲島での1日を楽しみました。夕食の時、池野実行委員長から来年の最後の日本区大会への参加要請と、広告のお願いを申し入れ快く参加、協力していただけるお返事を頂戴してメンバー一同感激いたしました。

来年6月の日本区大会での再会を固く約束し帰途につきました。

丹羽 真清

日本 GRAMPUS様

会長の挨拶

GRAMPUSのみなさま、お元気でしょうか。

今回韓国を訪問して下さった日本Grampus会長様をはじめとした池野輝昭様、坂口功祐様、阿部一雄様、服部庄三様、加藤道子様、丹羽真清様、三井秀和様に対して心から感謝いたします。

来年のY'S Mens Charter 五十周年の記念準備のため忙しいところ、わざわざこちらのSanDol Clubまでお尋ねになって下さったこと光栄と存じます。

わたしたちとしては今回の訪韓 Course を韓国最高の観光地である済洲島に決めました。その理由はSanDol Clubにとって最高の貴賓である貴Grampus Clubのみなさまをお迎えし、それに相応するもてなしをいたしたいと思ったからです。なにとぞ今回の訪韓中楽しい時間が持てますように望むところであります。

また、今回の訪韓をきっかけとしてGrampusとSanDol Clubとの間により深い関係の持たれるI.B.C.として発展されることを希望いたします。来年名古屋で開かれる五十年の記念行事には、できるだけ多くのSanDol Memberが参加し、日本区大会が大盛況になるように努力いたします。

今回の訪問を通してY'S Mensの3大精神の一つでもある親交がいつそう深まることを心から願うところであります。

SanDol Club

会長

禹浩碩



グランパストーク

12月の声を聞くとビックイベントである「クリスマス」が近づいてくるとともに、「雪便りや忘年会」の声が良く聞かれ、何かと気ぜわしい時期となります。毎年元旦には、「今年は…をの決意」をしっかりと持ちますが、1年を振り返ってみると何も実現していないのは私だけでしょうか。

ある本によりますと「人間は計画をすぐ立てられるが、その計画を実現するには並たいていの努力では達成しない」と述べています。まさしくそのとおりで、普段の仕事理由を理由についつい負けてしまっている自分に腹が立ちます。

今後の日本は「高齢社会」に向かって突き進んで行き、老後の生活保証や健康は自分ながら最も関心の高い問題ですが、どうも行政は頼りにならないのが現状です。それならば「自己確立」するために、これから3年間を準備期間と密やかに決意した46歳の師走です。

吉田 正

第一例会報告



今月の第1例会は、韓国サドルクラブより鄭源普氏の参加をいただきYMCA職員の常川里美さんをスピーカーに「視聴覚障害と手話について」お話しを伺いました。常川さんは、YMCAの職員になりアメリカでの4Hキャンプで初めて手話を体験され手話で意志が通じ合えることに感動し、手話の勉強をされたそうです。視聴覚障害の原因は、遺伝・近親結婚・幼児期の薬・病気（高熱など）・不明等があり、治ることもあるそうです。サインランゲージには、手話・指文字・口話・筆談・ゼスチャー・指示法・目等があり、指文字での自分の名前、手話の「きよしこの夜」を教わりました。名古屋YMCAが今年の夏で2回目をむかえるチャリソンラブキャンプは、愛知県内の4つの聾学校の生徒を集めて行われています。初めてキャンプを体験したり、学

校をこえて交流のなかったメンバーがキャンプを通じて友達になったりとメンバーに良い経験なっていると同時に、参加するボランティアリーダーに良い体験となっているそうです。チャリソンラブキャンプにより沢山のメンバー・リーダーが参加できるようになったり、チャリソンラブスキーなどができるように我々ワイズメンもチャリティーランなどを通じて微力ながらお手伝いを続けていきたいと思えます。ありがとうございました。

坂倉 洋

街頭募金大盛況！

17日今年、始めに壮行会を実施し栄地区で例年通り行われましたが、近年最高額（グランパス16万円当地区合計54万円）の善意が寄せられ大成功を治めました。尾崎 史忠

